

ご案内

原発被曝労働者喜友名正さんの労災認定を勝ち取ろう！

9/24 労災認定を支援する会 発足集会

場所・・・アピオ大阪 205号

(大阪市中央区森ノ宮中央1-17-5 JR森ノ宮、地下鉄森ノ宮)

日時・・・9月24日 午後1時30分～4時

経過報告・・・・・・・・・・金高弁護士

支援の訴え・・・・・・・・・・喜友名末子さん

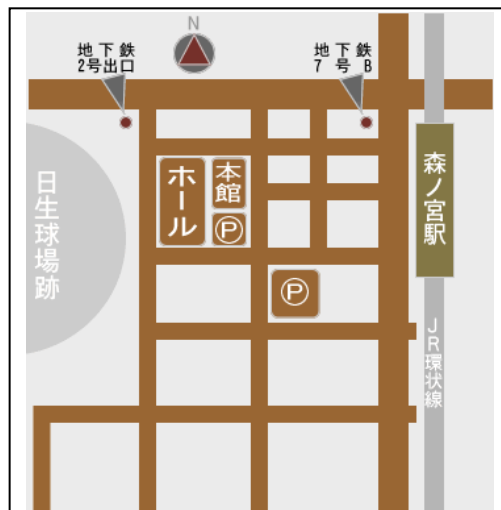
支援の取り組み・・・・・・・・支援する会事務局

講演 喜友名正さんの被曝労働と悪性リンパ腫

村田三郎 (阪南中央病院医師)

被曝労働者の労災認定に向けて

片岡 明彦 (関西労働者安全センター)



原発被曝労働者の喜友名正さんは全国各地の原発の定期検査で非破壊検査に従事され、その被曝線量は6年4ヶ月で99.76ミリシーベルトという線量限度一杯であった。1997年9月より2004年1月まで泊、伊方、高浜、大飯、敦賀、美浜、玄海などの原発、六ヶ所再処理施設などで働かれたが、当時の被曝労働者の中でもっとも多くの被曝を強いられた約100名中の一人であった。喜友名さんは体調不良で2004年1月退職後、2004年5月に悪性リンパ腫と診断され、2005年3月に53歳の若さで悪性リンパ腫で死去された。

遺族が2005年10月28日大阪の淀川労基署に労災申請されたが、翌2006年9月4日労基署は不当にも悪性リンパ腫は被曝労働者の労災認定基準の例示にないとして門前払い同然に不支給決定した。この不当な対応に同年10月23日大阪労基局に不服申し立てを行った。

今年6月、以下の団体と個人は、このように不当な決定を取り消すよう、厚生労働省へ申し入れ交渉を行った。

(呼びかけ：反原子力茨城共同行動、原発はごめんだ！ヒロシマ市民の会、双葉地方原発反対同盟、原子力資料室、ヒバク反対キャンペーン、賛同：団体57、個人185人) その結果、りん伺(資料を付けて上級機関に判断を求めること)に戻し、再検討するとの対応を引き出すことができた。現在厚労省がりん伺を受付、検討を開始している。

喜友名さんは日本の原発被曝労働者のうちでも最も過酷で多量の放射線被曝を強いられ命を奪われた人である。なんとしても労災認定させましょう。

2004年に多発性骨髄腫で労災認定された長尾光明さん同様、喜友名さんの悪性リンパ腫は白血病類縁疾患で、放射線起因性がある。長尾さんの多発性骨髄腫労災認定に続いて悪性リンパ腫を労災認定させることは日本の原発被曝労災補償の狭い門をこじ開け、全国の30万人にも上る被曝労働者の労災補償につながる。

支援の会を結成し、全国の力を結集して労災認定を勝ち取ろう。全国の皆さんの参加を呼びかけます。

2007年9月7日

喜友名正さんの労災認定を支援する会(仮称) 発足世話人

連絡先	〒162-0065 東京都新宿区住吉町8-5 曙橋コーポ2階B 原子力資料情報室 Tel 03-3357-3800 Fax 03-3357-3801 担当者 渡辺美紀子 E-mail cnic@nifty.com	〒591-8691 堺市堺区金岡郵便局私書箱17号 ヒバク反対キャンペーン E-mail hibaku-hantai@nyc.odn.ne.jp 担当者 建部暹 〒666-0115 川西市向陽台 1-2-15 Tel & Fax 072-792-4628
-----	--	---